

「知らない」から「広報大使」へ：5年生・那須町探究学習のパラダイムシフト

1. 認知的不協和：現状への気づき



「住んでいるのに知らない」という衝撃

魅力を聞かれて答えられなかった事実ショックを受け、それが「知りたい」という強い動機に転換。



観光・地域貢献
「那須町にいっぱい観光客が来ようように発表したい」



スキル・成長
「中学校や高校、社会人になっても緊張せずに話せるように」



探究・深掘り
「自分が知らないことを追いたい、魅力を深掘りしたい」



2. 目的意識：学習の先にある「相手」



那須町への社会貢献意識

「観光客を呼びたい」「みんなに負さを知ってほしい」という、広報大使のような視点。

自己のキャリア形成と成長

「将来、緊張せずに話せるようになりたい」と、学習を自身の成長ステップとして捉える。

3. 行動変容：自律的な学びのスタート



学びの場を学校外へ拡大

授業だけでなく、自主学習や家での練習・調査を自ら計画する主体的な姿勢。

2月のゴールに向けた具体的準備

「スラスラ言える」「原稿を頑張る」「暗記する」といった、明確なスキル目標の設定。